



**島原城築城400年記念事業  
基本方針**

# はじめに

- 島原城は、松倉豊後守重政公が元和4年（1618年）から7年の歳月を費やして築いた近世城郭で、5層の天守を中心として、本丸・二ノ丸に大小16基の櫓と外曲輪に31基の平櫓を要所に配しました。また、周囲には総長5,320mという規模の大きな矢狭間塀を巡らせ、江戸時代初期の完成段階の石垣構築技術と廊下橋や鏡石群など桃山期の築城観を併せ持つ壮麗な城郭でありました。
- その後、寛永14年（1637年）に「島原・天草一揆」で実戦を経験し、寛政4年（1792年）には「島原大変」の眉山大崩壊と津波という歴史的大事変に遭いながらも、島原藩の藩庁として250年間機能し、島原は島原半島の政治・経済・文化の中心となりました。
- 明治6年（1873年）の「存城廃城令」により民間に払い下げられ、明治9年までに惜しくも天守・櫓が解体されましたが、昭和39年（1964年）に天守閣が復元され、島原城は島原市民の誇りとなっています。



# 1 事業概要

## ■ 事業の目的

築城から400年を迎える島原城・城下町の歴史や文化を振り返り、新たな文化や魅力を創造し、次世代に伝承していくために、島原城築城400年記念事業を実施します。

- ・「城下町・島原」のシンボルとして島原城築城400年を祝う。
- ・島原の歴史・伝統・文化を再認識し、郷土愛を育み後世へ伝承する。
- ・島原が継続的に発展していくため、城下町にふさわしいまちづくりを推進する。
- ・400年の歴史の中で築いてきた関わりを基に、ゆかりの地域等との連携や交流を深める。

## ■ 事業の期間

平成30年度（2018年度）～平成36年度（2024年度）

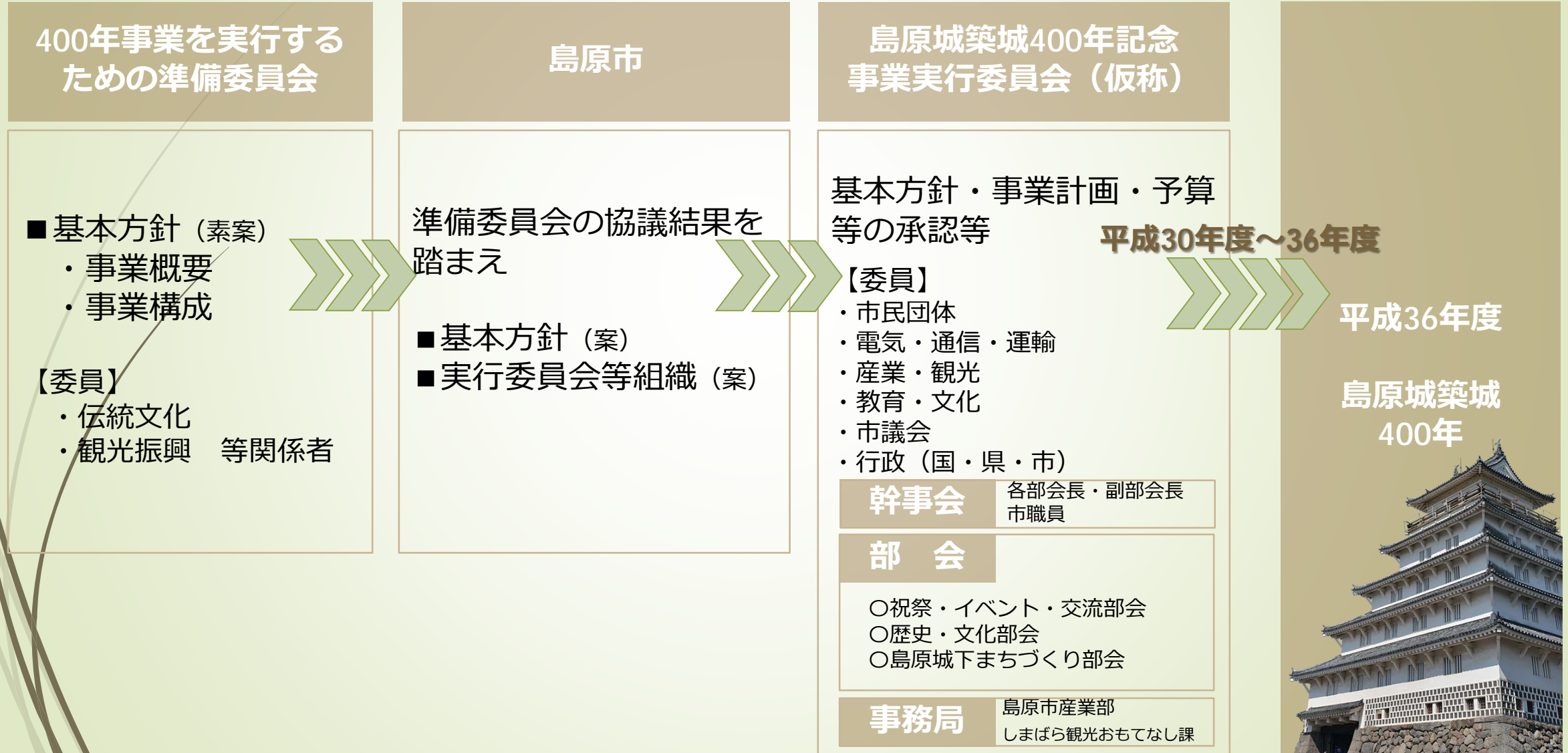


## 2 事業構成

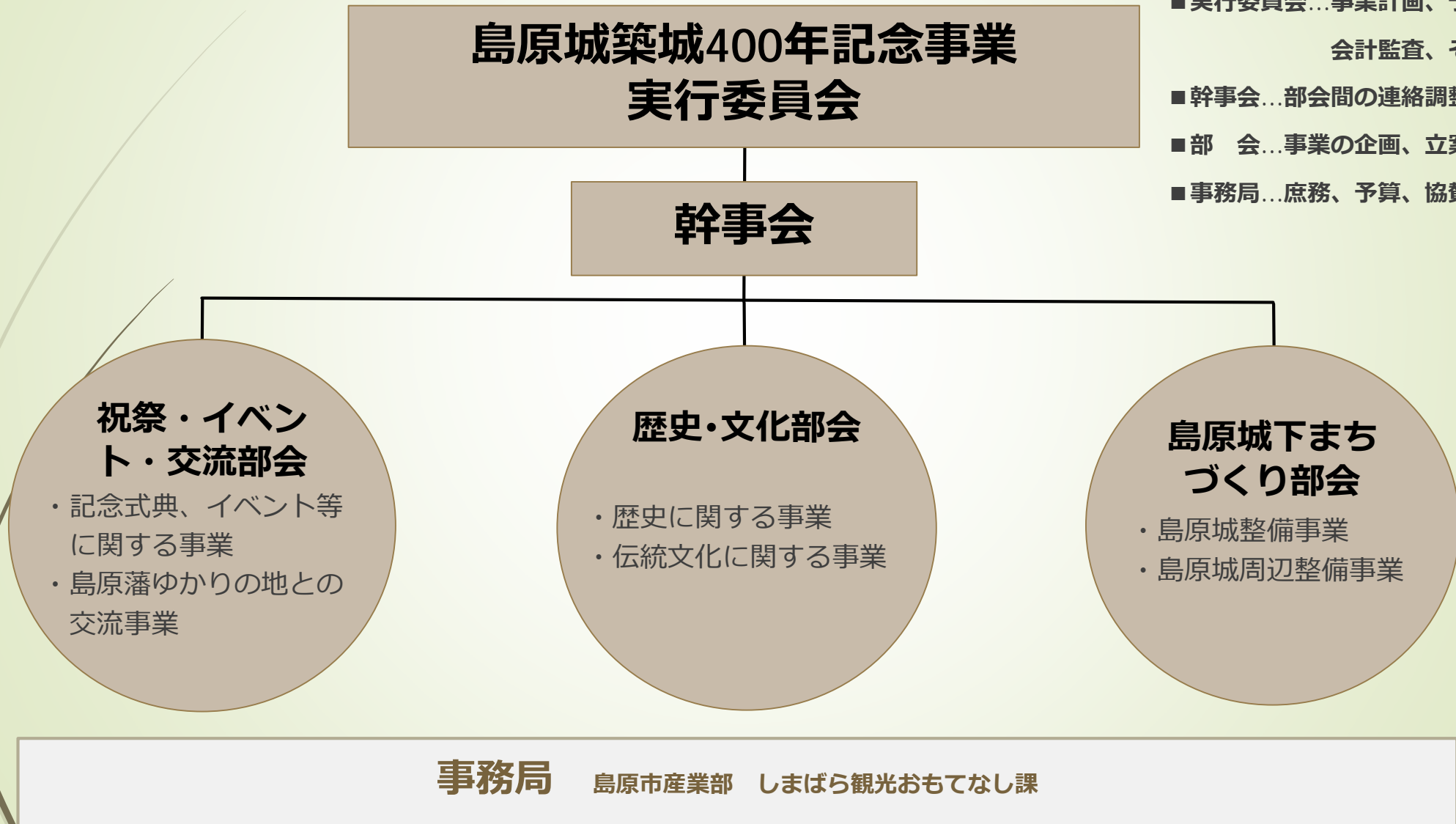
事業構成	事業内容	事業イメージ
祝祭・イベント・交流事業	記念行事、イベント、交流事業の開催	<ul style="list-style-type: none"><li>・主催事業（実行委員会が新たに企画し、主催する事業）</li><li>・協賛事業（実行委員会以外の事業主体が実施する事業で、関連付け出来る事業）</li><li>・島原藩を舞台としたイベント交流</li><li>・島原藩ゆかりの地との交流 等</li></ul>
歴史・文化事業	島原城の歴史や文化の再認識、郷土愛の向上、後世への伝承	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民大学講座の開催</li><li>・島原の歴史検定</li><li>・松平文庫の充実 等</li></ul>
島原城下まちづくり事業	城下町島原にふさわしい景観整備に対する提案	<ul style="list-style-type: none"><li>・島原城の整備</li><li>・島原城周辺の整備 等</li></ul>



# 3 事業推進体制



## 4 実行委員会組織



- 実行委員会...事業計画、予算の審議決定、  
会計監査、その他必要な事項
- 幹事会...部会間の連絡調整 等
- 部 会...事業の企画、立案、実施 等
- 事務局...庶務、予算、協賛、情報発信 等

